

Medical Specialist

けやき瓦版【メディカルスペシャリスト】

vol. **10**
2013. 冬

けやき瓦版【メディカルスペシャリスト】

2013年冬 第10号 発行=NPO 法人長陵協議会 事務局 〒980-9574 仙台市青葉区星陵町1-1 TEL: 022-717-7817 制作・印刷=株式会社インセント

根本 健二 先生

白河厚生総合病院 小児科

あえて挑戦すること

白河厚生総合病院

Data

白河厚生総合病院 Shirakawa Kosei General Hospital



【病院の理念】

1. 医療、保健、福祉事業を通して地域住民の健康を守り、豊かな暮らしに貢献します。
2. 県南の中核病院として関係機関との連携を深め、地域医療の向上に努めます。
3. 患者さんを全人的に理解し、優しさと思いやりをもって接します。
4. 充分に説明をし、患者さんの意思を尊重した医療を実践します。
5. 使命を自覚し、たゆまず研鑽を積んで医療の質の向上と人材の育成に努めます。

■ 詳細はHPへ

<http://www.gonryo.com/guide/fukushima/shirakawakousei.pdf>

【学生へひとこと】

当院は福島県南地域のの中核病院で病床数は471床、救急医療も一次からほぼ三次近くまで対応しており、研修先としては症例の偏りも少なく丁度良い規模なのではと自負している。さらに、平成20年度に病院を移転したばかりで院内の医療施設の充実しており、病院全体のアメニティも優れている。実際、今回の震災でも免震構造が幸いして医局の本棚の乱雑な本の1冊もくずれなかった。いつでもコンサルテーション出来るフットワークのよさが中規模病院の良さです。コ・メディカルも非常に意欲的で仕事がしやすい環境となっています。

【地域自慢】

新幹線で仙台から55分、東京から1時間16分と学会活動などにも便利である。また、市内に大型ショッピングセンターが3か所あり、週末の身近な買い物を楽しむことができる。自然が豊かで日光国立公園や那須岳へのドライブ、那須温泉・甲子温泉などの温泉、冬には羽鳥湖・マウントジーンズ・猪苗代スキー場などでスキー、春には鮎釣りのメッカ久慈川・那珂川で四季折々の楽しみがある。食べ物では、各店の手打ちの味が楽しめるのがラーメン屋と蕎麦屋で味巡りを楽しめる。

【病院概要】

病院長	前原 和平
所在地	〒961-0005 福島県白河市豊地上弥次郎 2-1
TEL	0248-22-2211 (代)
FAX	0248-22-2218
E-mail	kensyu@shirakawa-kosei.jp
URL	http://www.shirakawa-kosei.jp/
病床数	471 床

【診療科目】

第一内科(消化器内科)	第二内科(循環器、血液)	第三内科(糖尿病、腎・高血圧、代謝・内分泌)	呼吸器内科
小児科	神経内科	心療内科	外科
呼吸器外科	心臓血管外科	消化器外科	乳腺外科
肛門外科	整形外科	脳神経外科	内視鏡外科
精神科	皮膚科	泌尿器科	泌尿器科(人工透析)
産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	リハビリテーション科
放射線科	病理診断科	麻酔科	



NPO 法人長陵協議会は、卒業臨床研修の充実を図ることを通して研修医の指導医の要請と地域医療の発展を支援しています。個人・団体の正会員、賛助会員を募集しております。お気軽に事務局までご連絡ください。

事務局 E-mail

info@gonryo.com

臨床研修に関する情報は HP をご覧ください。

長陵協議会HP ▶ <http://www.gonryo.com>



楽しいイベントやスポットをご紹介します



■ 梅寿

お寿司を中心とした海鮮居酒屋。料理を選べば、それに合うお酒を大将が多くの日本酒から選んでくれたりします。豊富な海の幸と日本酒と一緒に満喫できる素敵なお店です。



■ 虎屋(とら食堂)

白河と言えば、やはりラーメン。なかでも最も美味しいと言われる虎屋は、医局に入れば誰もが行くお店。手打ち麺と醤油味が全国的に人気があります。

■ 吉田屋

白河は日本4大蕎麦処として有名ですが、吉田屋は白河市内で最も有名な蕎麦屋です。そば粉や出汁に徹底的にこだわった味は絶品。天ぷら蕎麦や大盛りざる蕎麦が人気です!



■ グランディ羽鳥湖 スキーリゾート

初級から上級者、家族連れでもスノーボーダーでも楽しめるバリエーション豊かなコースが人気の福島随一のスキー場。都内からも多くのスキーヤー、スノーボーダーが訪れますが、地元の支持も厚く、知る人ぞ知るウインタースポーツリゾートです。

根本 健二先生

白河厚生総合病院 小児科の指導医、
根本 健二先生に聞く
小児科医を目指す若い研修医へのメッセージ。

白河厚生総合病院 小児科

あえて挑戦 すること

白河厚生総合病院での 研修について

当院は中規模総合病院です。大き過ぎず、医師-医師間の垣根が低く、横のつながりが非常に良い病院です。研修では様々なケースに対応するため、各科の指導医との関係が重要になりますが、当院は何でもすぐに聞ける環境が整っています。

地域唯一の総合病院ですので、非常に多くの症例を診ていくことができます。初期研修で経験すべき症例は全て遭遇できると言ってよいでしょう。

いでしょつ。

また、当院は24時間CTやMRIの画像を撮ることができ、分らないことがあっても担当指導医にすぐに聞ける態勢が整っています。最新の機器による豊富な画像データが揃う環境で、多くの指導医のサポートを受けながら、知識と実践を融合した充実した研修を受けることができます。

あえて挑戦すること

研修においては、疾患特異性・臓器特異性にとらわれず、幅広い知識

誇りもてる仕事です

人の命を預かる仕事ですから大変なのは仕方ないのですが、やればやるだけのことが返ってくる誇りの持てる仕事です。

十分にもが言えない小さい子供や、慌てている母親とのコミュニケーションから多くの情報を得て診断していくには当然テクニックも必要であり、容易ではありません。しかし、少子化時代であっても、この国の未来を支えるのは、やはり子供達なのです。そういう時代だからこそ未来を支える子供達を世に送り出していく大切な仕事だと信じています。

研修で多くのことに挑戦し、様々な経験を積みながら、センスを磨いていくって欲しいと思っています。

を得ることが大切です。多くの経験と知識を身につけて、二つの経験と知識を、点と点ではなく、繋ぎ合わせて立体的に組み上げていかなければなりません。

幅広い知識を身につけて、アンテナを高くしていくためには、自ら進んで挑戦する道を選ぶ必要があります。あえて挑戦し続ける姿勢を貫くことでしか得られないことが沢山あります。喰わず嫌いではいけません。多くの経験と多くの失敗から導き出される答えこそが正しいものであると信じています。

これは医療に限ったことではありません。何もやらずに避けたり逃げたりするのはなく、あえて挑戦していくことでしか得られない答えがあると思っています。



百尺竿頭進歩

禅語に「百尺竿頭進歩」という言葉があります。物事を極め悟った状態にあり、竿先にあっても、そこへ留まってはならず、竿から落ち、身を捨てる覚悟で次の一步を踏み出さなさいという意味です。私自身も常に挑戦していく姿勢を大切にしていきたいと思っています。

自分で考える癖をつける

研修医は多くの経験を積み、自ら答えを出す癖をつけていく必要があります。もちろん多くの失敗を伴うことになると思います。しかし将来一人前の医師になったとき、自ら答えを出せる道筋を持ち、正しい答えを出せなくては、研修の意味がなくなってしまうと思います。日頃から研修医自身に多くの挑戦をしろ、しっかりと考える力を身につけてもらっています。

質問 2. 座右の銘は?

百尺竿頭進歩

質問 3. 医師を目指す人へのメッセージ

誇りもてる仕事です
やればやるだけの事が返ってきます

研修医 voice

部活の先輩の紹介で見学に来たのですが、指導医の先生や病院のスタッフさんがとても気さくに話をしてくださる雰囲気がとても良かったです。先輩研修医も明るい雰囲気だったのでここにしました。

また、夜間救急外来で内科と外科の両方を診ることができるといっても大きな要因でした。初期研修の段階では多くの科の多くの症例を診ることができ環境であるべきと考えています。

新しい施設で24時間MRIが撮れるような病院は少なく、しっかりとした画像をもとに研修を進めていきます。宿舎も個室でもキレイですし、何となくとも食事が美味しく研修環境として最高です。



左から福井先生、相澤先生、根岸先生(女性)、江花先生、高木先生、沼野先生(右手前)

質問 1. 医師としてのモットーは?

あえて挑戦すること

このラインは消します

根本 健二先生 Profile

- 平成6年3月 福島県立医科大学卒業
- 同年4月 福島県立医科大学小児科入局
福島県立医科大学付属病院小児科勤務
- 平成8年 白河厚生総合病院小児科勤務
- 平成10年 福島県立医科大学付属病院小児科
- 平成11年 小児科専門医取得
- 平成15年3月 医学博士取得
- 同年10月 白河厚生総合病院小児科医長
- 平成19年 同科長
- 平成24年 同副部長

